

夢、私たちに。

わたしのひとこと



白馬に嫁いで・・・

沢渡 村上 英子

私が白馬に嫁いで10年目になります。白馬に来たばかりのころは、友達もいなかったけれど子どもができてからは、子育てを通じママ友ができました。こどもの事をお互いに話したり、励ましてもらったり支えてもらいました。みんなありがとう。仕事をしていて、お客様が、「おいしいお蕎麦だね。」と笑顔で言ってくれた時はうれしくて頑張ろうと思います。人とつながりは大切ですね。勇気をもらいます。

白馬で生活して雪の多さには、びっくりしました。結婚前にスノーボードをやり何回か来たことはありますが、生活してみるととても大変です。でも、白馬は四季を身近に感じることができて素晴らしいと思います。春には桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色とそれぞれ季節を感じられます。たくさんの友達にもっと白馬に来て自然を感じてほしいと思います。私もお客様に笑顔で帰ってもらえるように仕事を頑張っていくと思います。



白馬に暮して

八方 太谷みどり

平成元年に結婚した私ですが、早いものでもう数十年。その間、ワールドカップ、オリンピックと足早に今に至った気がします。実家が佐久の私にとっては、高速道の延伸や長野白馬間のオリンピック道路は、実家と八方を結ぶ道でもあり、オリンピックのおかげでとても近くなりました。

病気や怪我をしても休めない旅館の女将業。大変な事ばかりですが、昨年の震災は、これからどうなってしまうのかと不安ばかりでした。でも、たくさんの励ましのメールや電話を友達やお客様から頂いた時は、女将の仕事懸命にやってきて良かったと思った瞬間でもありました。

外国の方もたくさん来られるようになった白馬は、とても可能性のある地に思えます。私も女将の道をもう一歩進み、新しい事にチャレンジできたらと思う今日この頃です。



休耕地の活用を

どんぐり 速水 政文

私は20数年前、登山に来た時に白馬三山の美しさと、村の景観の素晴らしさを感じて、将来ここに住めたらと思っていました。長野冬季オリンピックが終わった後、定年を迎えた私はその3か月後に移住しました。

白馬に来てその雪の多さにびっくりしましたが、その美しさにも心を打たれました。都会では味わえないメリハリのある四季の移り変わりと、心休まる空間の中で休耕地の一部をお借りして野菜作りを始めました。白馬三山を遠望しながら畑仕事をしていると白馬に来て本当に良かったと思います。

しかし、最近耕作されずに放置された畑や田んぼが目につきます。山麓に広々と広がる水田と、青々とつながる緑の畑が白馬の景観には必要なものです。この休耕地をそのままにしておくのではなく、村として積極的にこの休耕地を活用するようにしていただけたらと思います。

編集後記

任期後半の議会報特別委員長をやらせていただくことになりました。

先日の議会改革アンケートの中で、議会だよりの読み易さなどを伺う質問は設けられませんでした。住民の皆さんにとって、わかり易く、有益な情報源になっているかどうかを、常に頭に置いて編集しなくてはいけないと思っています。

同時に、そんな親しみやすい議会報になっているかを、皆さんにお聞きする素直な姿勢でいたいとも思っています。紙面構成のあり方、配布時期などももう一度考え直し、同時に住民の皆さんに登場していただく機会を拡大、充実させるなどし、議会改革の一端を担っていかれると思っています。

(伊藤まゆみ)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 北澤禎二郎 |
| 委員長 | 伊藤まゆみ |
| 副委員長 | 松本喜美人 |
| 委員 | 加藤亮輔 |
| 委員 | 津滝俊幸 |
| 委員 | 太田正治 |
| 委員 | 太田伸子 |
| 委員 | 篠崎久美子 |